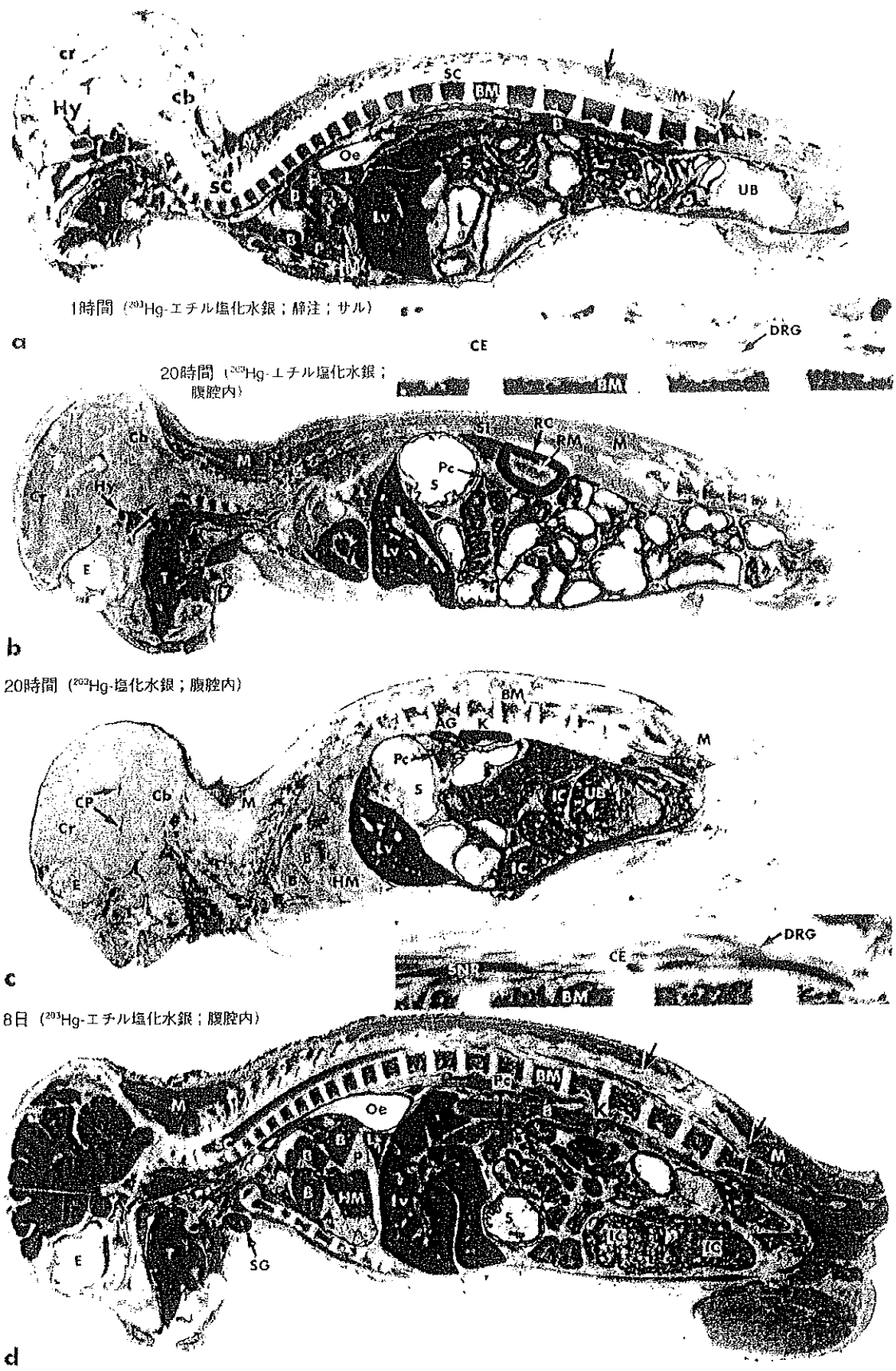


口絵② 標識水銀化合物を投与後の正中断したサルの全身オートラジオグラフ



- (a) ^{203}Hg -エチル塩化水銀 ($800\mu\text{g}/\text{Hg}/\text{kg}/100\mu\text{Ci}$) を静注して 1 時間後のもの。(倍率 0.59 倍) (a) の ↑ の領域の拡大像。(倍率 2.5 倍)
- (b) ^{203}Hg -エチル塩化水銀 ($800\mu\text{g}/\text{Hg}/\text{kg}/96\mu\text{Ci}$) の腹腔内注入して 20 時間後のもの。(倍率 0.45 倍)
- (c) ^{203}Hg -塩化水銀 ($800\mu\text{g}/\text{Hg}/\text{kg}/96\mu\text{Ci}$) の腹腔内注入して 20 時間後のもの。(倍率 0.35 倍)
- (d) ^{203}Hg -エチル塩化水銀 ($800\mu\text{g}/\text{Hg}/\text{kg}/100\mu\text{Ci}$) の腹腔内注入して 8 日後のもの。(倍率 0.56 倍) (d) の ↑ の領域の拡大像。(倍率 2.2 倍)